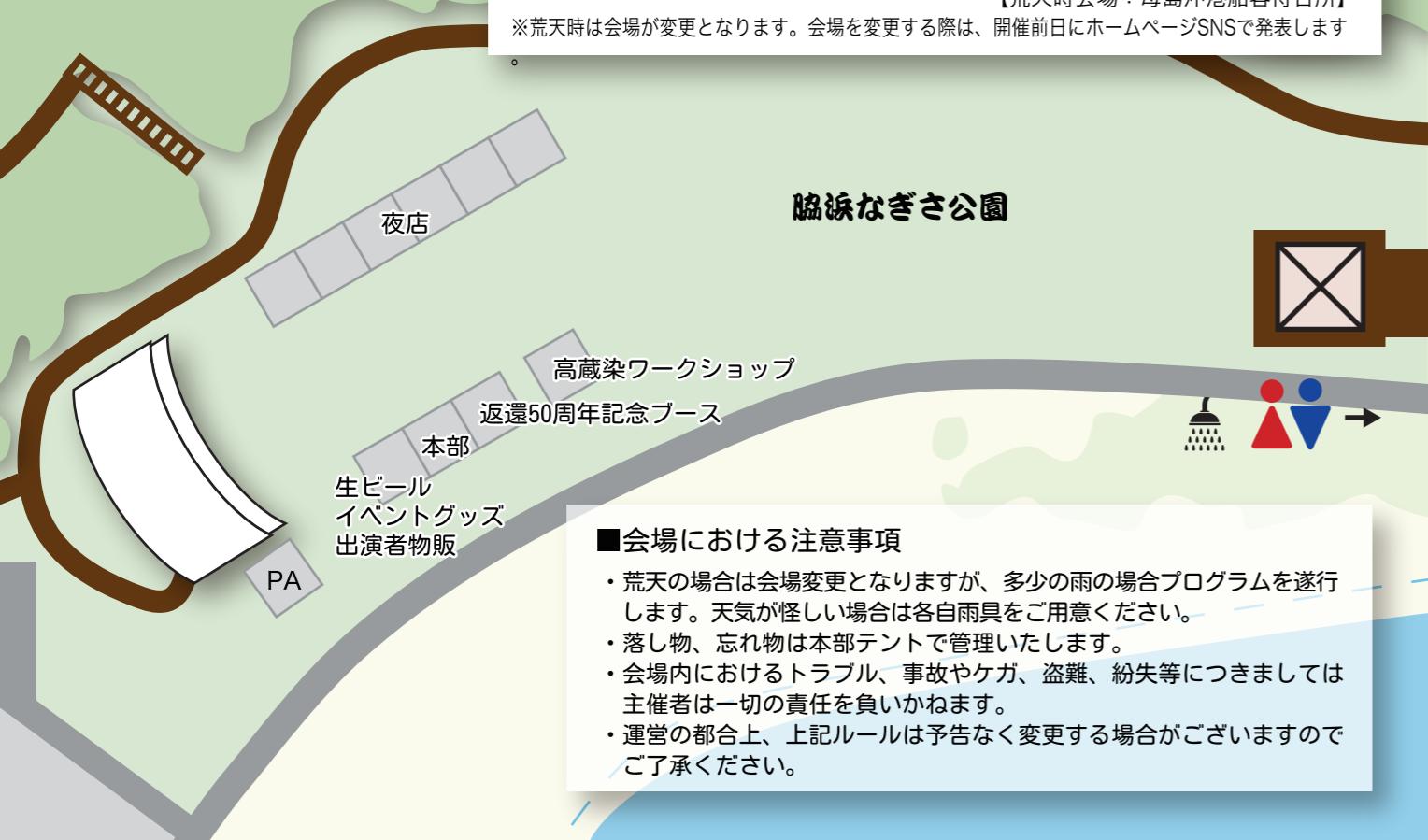


母島ステージ

主催：小笠原諸島返還50周年記念事業実行委員会
制作：小笠原ミュージックフェスティバル実行委員会
アット・ジ・アースプロジェクト



Ogasawara Music Festival

10月28日（日）13:30～音楽教室

16:00～21:00 音楽ライブ

【荒天時会場：母島沖港船客待合所】

※荒天時は会場が変更となります。会場を変更する際は、開催前日にホームページSNSで発表します。

協浜なぎさ公園

■会場における注意事項

- ・荒天の場合は会場変更となります。多少の雨の場合プログラムを遂行します。天気が怪しい場合は各自雨具をご用意ください。
- ・落し物、忘れ物は本部テントで管理いたします。
- ・会場内におけるトラブル、事故やケガ、盗難、紛失等につきましては主催者は一切の責任を負いかねます。
- ・運営の都合上、上記ルールは予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

～「Ogasawara Island Jazz」～

2016年4月「Island Jazz @ The Earth」というイベント名で、小笠原で初めて「ジャズフェス」が開催された。つるつる頭の仕掛け人、「すみだストリートジャズフェスティバル」の発起人・実行委員長の能さんより「オガフェス」開催にあたってご挨拶をちょうだいしました。

こんにちは！まずは小笠原諸島返還50周年…おめでとうございます！ここ数年、ジャズイベントのたびに島におじゃましているツルツル頭のおっさん、能（たくみ）と申します。やや目立つからピーンと来られる方もおられるかと思います。突然囁きつたりしないで、島で見かけたら、気軽に声かけて下さいね。さて、このイベントも創めて早3年目…遡ること15年前かな…商社に勤めていた僕はいろいろな部活の部長をしていて、たくさんの仲間を集めて大会や合宿などを企画運営していたのですが、当時カヌー部で企画して初めて訪れたこの島にすっかりドハマりしてしまって…その後、仕事が世界中を駆け巡ってきたものの、島でのあのキラキラした思い出が忘れられず…9年前に東京の墨田区でジャズフェスティバルを創めて盛り上がるにつれ…思い入れの強いこの島でもジャズフェスをやってみたいと周囲のメンバーに漏らすようになってました。そこで「ドドドーーーーーン！！」と背中を押してくれたのが、毎年この島と一緒に来ているかけがえのない仲間たちでした。そしてそれに呼応して、今ではこのイベントをなんとか継続していくこうと踏ん張ってくれている仲間が島にもたくさんいて…今ではすっかり飲み場所や飲み仲間に困らない島になりました。元々無かったコトを興す「ゼロイチ」も大変だけど、永く続けることって凄く難しいですよね！のために日々踏ん張ってくれている仲間の不断の努力にいつも感謝していますが、それを実現させて下さっている島のみなさんにもとても感謝しています。このイベント…島のみなさんが誇りに思えるようなイベントとして永く続くことを心から祈っています。スタッフとして、サポーターとして、出演者として…イベントへの関わり方はいろいろだと思いますが、これまで以上の応援をお願いします。

能 厚準

皆さんこんにちは。人と自然と音楽と、小笠原ミュージックフェスティバルを思い思いに楽しんで頂けたら幸いです。

今回は、オガフェスの宣伝等をやらせて頂いてます。小笠原でのジャズフェス開催初年度、現 Speak No Evil の翼さんとのご縁がきっかけで、翼さん達のバンドが島で見られるのなら！と、本当に単純な動機でアットジースプロジェクトに関わらせて頂くようになり3度目の小笠原でのフェスです。アットジースの健太郎、能さんをはじめ、ジャズフェスを介し、音楽仲間を介し、島内でも、島外でも、とてもたくさんの素敵なお縁を頂いているなあと、本当に感謝しています。

近頃「ご縁」というものの有り難さを、しみじみと感じております。最初に翼さんとのきっかけを作ってくれたのも、20年以上前に私が島に来たばかりの頃にお世話になった方の息子さんとの交流があったからでした。感謝です。ご縁とは万物の摂理「因縁生起」、有り難い因と縁が重なつて今この時があると。時を遡りながら「ああ、あの時のアレがここに繋がったのか！」と後になって気付いて頷いたり、因縁生起を辿ってみると結局のところ今を感謝すべきは1人ではなく、一箇所ではなく、一つの因でも縁でも無く、全てのタイミングと全ての人と全ての因と縁によって作られてきた、それこそ宇宙的な（笑）規模で頷きたくなるような、笑いたくなるような、感謝したくなるような、不思議な感覚を味わっております。そしてこれから、今のご縁が絶えず変化し、この先どうなるのかは全くわかりませんが Ogasawara Music Festival が一つの因となって、今後多くの人々の素晴らしいご縁としたら幸いです。

そして初志貫徹、単純に、小笠原でのフェスをとても楽しみにしています！

小田川 明子



ワークショップ DANCE@THE EARTH のご案内

Ricky with FSP のダンサー、イクミさん・yuri nakajima によるダンスワークショップです！

17:00～の部を小学生 (HIP HOP)、19:30～の部を中学生以上 (JAZZ) としてますが、中学生以上で HIPHOP をやりたいという方は17:00～の部に是非参加して下さい。プロのダンサーさんに教えて頂ける幸せな時間を一緒に楽しみましょう！

日 時：10/26（金）小学生 (HIPHOP) 17:00～17:45 / 中学高校生大人の部 (JAZZ) 19:30～21:00
場 所：奥村交流センター

10/26
(金)
開催！

| 10月28日（日）母島 | |
|-----------------|-------------------------------|
| 16:00 | 母島ステージ（臨浜） |
| 16:00 (0:30) | 音骨 |
| 16:30 | |
| 16:40 (0:45) | K4 |
| 17:00 (0:45) | |
| 17:25 | |
| 17:30 | |
| 17:40 (0:45) | 松永希 Ogasawara Special UNIT |
| 18:00 (0:45) | エマーソン北村 ソロ |
| 18:30 | |
| 18:40 (0:35) | Spinna B-ILL |
| 19:00 (0:35) | |
| 19:15 | |
| 19:30 (0:45) | BimBomBam楽団 feat. 竹廣類 |
| 20:00 (0:45) | |
| 20:30 | |
| 21:00 | |

10/28(日) 母島 TIME TABLE

タイムテーブルは変更することがあります

10月28日、ははじまりでさらに南へ50km！



大、大自然でのミュージックフェスの始まりです。
母島ならではのお店もいろいろお楽しみに！！
牛丼、Tシャツ、ステッカー、焼肉、お好み焼き、
ソフトドリンク、缶ビール、缶チューハイ等
ママヤカフェのドリンク
父島から出店の小曲キッヂは、たまなの
胚芽ロールでホットドッグ
小笠原諸島返還50周年記念事業実行委員会は
「50COLORS」ガチャポン

10/27(土),28(日)父島 TIME TABLE

タイムテーブルは変更することがあります

| 10月27日（土）父島 | | | |
|-------------|--|---|-------------------------|
| | サンゴステージ（前浜） | パッションステージ（お祭り広場） | 南国ステージ（ゲゲゲ） |
| 14:00 | | 14:00 開会宣言 14:05 Swing Blow (0:40) with 14:45 BimBomBam楽団・元晴 | |
| 14:30 | | | |
| 15:00 | 14:55 | | |
| 15:30 | (1:00) K4 | | BAR & DJ |
| 16:00 | 15:55 | | |
| 16:30 | | 16:05 (1:00) 松永希 Ogasawara Special UNIT feat. 山内アラニ雄喜 | |
| 17:00 | | 17:05 | 16:45 (0:40) 音骨 |
| 17:30 | 17:30 | | 17:25 |
| 18:00 | (1:00) HIP BEAN SPROUT | | BAR & DJ |
| 18:30 | 18:30 | | |
| 19:00 | | 18:55 | |
| 19:30 | | (1:00) BimBomBam楽団 feat. 竹廣類 | 18:35 (0:40) エマーソン北村 |
| 20:00 | | 19:55 | 19:15 |
| 20:30 | 20:00 (1:00) HOME GROWN with Spinna B-ILL | | BAR & DJ |
| 21:00 | 21:00 | | |



| 10月28日（日）父島 | |
|--|-----------------|
| パッションステージ（お祭り広場） | 南国ステージ（ゲゲゲ） |
| 12:00 開会 | 11:00 山内アラニ雄喜 |
| 12:05 太鼓会 | 12:00 ワークショップ |
| 12:30 サマーガール&ボーイ | 12:45 |
| 12:35 片岡えいじ | (0:40) 木村 優 |
| 12:45 zing | 13:25 |
| REIKO Oneman Band | BAR & DJ |
| 13:45 (0:30) | 13:55 |
| 14:15 | (0:40) 赤須 翔 |
| | 16:40 |
| 竹内晴奈 | BAR & DJ |
| 15:30 | |
| (0:50) | |
| 16:20 | 16:00 |
| | (0:40) 斎藤シラベ |
| | 16:40 |
| Ricky with FSP | BAR & DJ |
| 17:30 | |
| (1:00) | |
| 18:30 | 18:10 |
| | (0:30) ヤドカリシザーズ |
| | 18:40 |
| SPEAK NO EVIL feat. Hironobu Saito | BAR & DJ |
| 19:40 | |
| (1:20) | |
| 21:00 | |

・ステージ前は基本スタンディングの場合など、一時的なござ・椅子

- ステージ前は基本スタンディングになります。ステージ前が空いている場合など、一時的なござ・椅子の利用はかまいませんが、長時間陣取る場合はファミリーエリアをご利用ください。
・荒天の場合は会場変更どなりますが、多少の雨の場合プログラムを遂行します。天気が怪しい場合は各自雨具をご用意ください。
・夜ステージ間の移動は足元が暗くなりますので、ライトなどをご用意ください。
・落し物、忘れ物は本部テントで管理いたします。

■
2日間の長時間イベントになります
椅子・テーブル、日除けタープ・

- 2日間の長時間イベントになります。ファミリー・エリヤ内にござ、キッズ椅子・テーブル、日除けタープ・テントなど、各自休憩できるスペースをご用意いただき、イベント中の活動の拠点としてご利用ください。夜会場全体が暗くなりますので、電池式のランタンなどご用意ください。・ファミリー・エリヤの場所取りは、10月27日午前9時より開始します。・スペースは譲りあってご利用ください。

■その他

- その場に置いておき、また翌日利用してもかまいませんが、イベント終了後は会場内にたまらず、イベント会場から速やかに解散してください。・ファミリーエリア以外は日除けタープ・テントなど張らないでください。※出店者を除く

■その他

 - ・会場内におけるトラブル、事故やケガ、盗難、紛失等につきましては、主催者は一切の責任を負いかねます。
 - ・運営の都合上、上記ルールは予告なく変更する場合がございますので、



開催日時：10月27日（土）14:00～21:00
10月28日（日）12:00～21:00

※場所取り：10月27日（土）9:00～

荒天時は会場が変更となります。会場を変更する際は、開催前日にホームページSNSで発表します。

小笠原諸島返還50周年 Agasawara Music Festival



菊地 崇 (フェスおじさん)

フリーペーパー DEAL 編集発行人。Switch、balance、88、Ljなど、常に「カウンター」を視点に雑誌・フリーペーパーの編集や執筆をしてきた。国内外のフェスに数多く出没し、「フェスおじさん」というニックネームでも呼ばれている。10月に発行したばかりの DEAL 最新号は「伊豆南」を特集。

<http://www.dealmagazine.net>

「フェスおじさん 来島」
「カウンターカルチャー」をテーマに全国のフェスなどの取材を行っている「フリー ペーパー DEAL」の編集長・ライターである通称「フェスおじさん」こと菊地崇さんより、おがフェス参加にあたってご挨拶いただきました。10月10日発行の「DEAL」号もお持ちいただけたことで、楽しめます!

今までで、もしかしたら「もっとも遠い」ところで開催されているフェスへの参加かもしれません。ボナルーやコーケラといったかつて行つたアメリカのビッグフェスよりも、どんな時間になるのかイメージがつかない。それは大きな期待への裏返しでもあります。小笠原という場所とどうフェスがリンクしているのか。楽しめです。船酔いだけが心配。会場のどこかで DEAL を配付する予定です。見かけたら手にとつてください。



Free Paper ORB

2016年に創刊した、小笠原諸島のヒト・モノ・文化・歴史などを発信するフリーペーパー「ORB」をご存知だろうか。おがフェス開催にあたって、フェスの方向性などについて助言・協力をいただいた「ORB」のルディー・スフォルファ編集長より一筆頂いた。

もっと若かった頃はよくフェスに行っていた。とは言っても、当時は「フェス」という言い方ではなく単純に「野外」という括りだった。僕が思うには最初のフジロックをきっかけに海外のロックフェスティバルのようなイベントが日本でも開催されるようになっていった。さらにサイケトランス・テクノ全盛期のおかげでレインボー 2000 以降の野外レーベン多くの人を集めようになってしまった。今やフジロックやサマーソニックなどの超メジャー音楽イベントの他に大小様々なフェスが各地で開催されるようになっている。そしてついに、国内で最果てといつてもいい小笠原諸島での「フェス」が、2016年に初めて開かれた。翌年の2017年にも開催され、今年は小笠原返還 50 周年ということもあってさらに大きいイベントになるだろう。

小笠原ミュージックフェスティバルの特徴といえば、言うまでもなくその美しい自然のバックドロップだ。世界自然遺産でもある国立公園での音楽フェスはおそらく小笠原だけだろう。また、アーティストや参加者も同じ船での旅を共有するというもの、なかなかできない体験のはずだ。そしてこれらの特徴に加えて個人的に感じるおがフェスの魅力は、このイベントの「手作り感」だ。小笠原には音楽イベントなどの開催や企画を請け負ってくれる業者はいない。機材も内地に比べたら限られているし、24 時間の船で運ぶのも大掛かりになる。だからここにあるもので工夫し、想像力を使いながら自分たちで作る。本職でなくても力を合わせて、真剣に楽しもうとするその姿勢には、なんとなく昔の「野外」の時代を思い出させる。そしてそれは現代社会の流れにも合っていると思う。

技術の発展が加速していく一方で、最近ではネットや携帯などが普及する以前の時代のものの価値が見直されている。音楽の世界では LP やカセットが復活し、電子機器やネットの読み物よりも紙媒体の良さが再確認されている。生活環境やライフスタイルを見つめ直し、地方へ移住する人も増えている。

フェスについても、地域に密着した小規模なイベントについても聞くようになった。その場所にあるもので作り上げて周りの人たちと自然の中で音楽を聞くという、フェスの楽しみ方の原点を求めている人が多いからという気もする。おがフェスには、そんな「古き良き時代」の感覚が流れている。

Free Paper ORB Ludy Sforza

木村優
島に住んでもうすぐ 10 年、日々感じた事を気がつけば歌にしていました。酒と仲間がいたら出来た音楽です。荒削りですが、お手柔らかに聞いてやって下さい。
[profile](#)

ヤドカリシザース
陰ながら島を恋慕う「LOVE&PEACE」の自称島っ子である。
[profile](#)

熾火 TALKS
ボーカルのツチダです。僕が父島に在住していたときに書いた曲を持って父島へ伺います。島で暮らした日々、ボニーナやヤンキータウンで演奏した思い出は今もかけがえない宝物です。
祝・返還 50 周年!
[profile](#)

Summer Girl & Boy, Summer Kids
皆本当に仲が良く、明るく楽しく笑いの絶えないダンスチームですが、決めるところはかっこよく決めてくれます!! 皆さんも一緒に楽しんでください!
[profile](#)

片岡えいじ
大阪生まれ大阪育ち、オモロいやつはだいたい友達。現在は小笠原父島に移り住み子育て奮闘中。
[profile](#)

Zing
音のあふれるこの島で音にノって踊れたら更に楽しい事を伝える為に今年の 5 月から活動を始めました!始めて人前で踊る子達もいますが、ダンサーもお客様も楽しんでほしいです!
[profile](#)

Sugi
最高の場所で最高の人達と遊べる 2 日間 南国ステージに踊りに来てください! DJ のタイムテーブルは当日発表予定です!
[profile](#)

Gatz
小笠原返還 50 周年のタイミングで、こんな素敵なお祭典に参加させて頂き、とても光榮です! 素晴らしいミュージシャンの方々との再会、そして新たな出会いを楽しみにしています!
[profile](#)

Megumusix
島の魅力、船旅の非日常感、素晴らしい野外フェスを出した皆さんと共に出来たことに感謝し今年も訪れる事をお決めしていました。今回 DJ 参加させていただくことに感謝です!
[profile](#)

PA 紹介
【サンゴステージ】瀧口 和徳 (Takiguchi Kazunori) - 上部 修一 (Shuichi Uwabe) - 父島音響
【パッションステージ】熊田 好容 (Yoshiyasu Kumada) - Hibino Recordings 高櫻 哲広 (Tetsuhiro Takazakura) - Feel And Sound Production 柏木 徹 (Toru Kashiwagi) - 父島音響
【南国ステージ】父島音楽愛好会 「PA サポーター絶賛募集中!」
【母島ステージ】川原壮太 (Sota Kawahara) - Senzoku Gakuen College of Music 「今回初めての小笠原、そして初めての OMF 参加となります。音響として心地よい音を、音楽を、皆様にお届け致します! 思い出に残る素晴らしいエスティバルになるお手伝いができれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します!」橋本直 (Hashimoto Tadashi) - 母島 ピッヂ

MC ズ
昨年も引き続き えびゆみ: フットサルも大好きな、喋って踊れる体育会系モデル M シーマ: 小笠原村が誇るスーパー JUKE BOX ダイナマイト・マサル: 島内リングアナと言えばこの人。屋台もスペシャル実況中継。

Salty
自然とすべての生き物が調和されるお祭りにしていきたいです。
[profile](#)

ily drawing
iphoneケース、ハガキ、イラスト、チアマッサージ
(時間帯によりやろうと思ってます)
encourage you
オラクルカードのリーディング。宇宙や世界のあらゆる精霊たちから、"今"あなたに、伝えたいこと。
夏のはじめに小笠原・母島にやってきて、ちょっと長い旅と夏の終わりを、おがフェスで迎えます。父島で、あなたに出来ることを、心から楽しめています。自分の本当の気持ちを確かめたいとき、新しい事を始めるとき、人生の道に迷ったとき・あなたとの出逢いを待っているカーデが、きっと、ここにあります。
Islandbead samasama
父島で手作りのガラスアクセサリーを作っています。
小笠原の自然の中で、なんとなく出来た作品です。

gabaoライス
フレッシュユバジルを使ったタイ料理で、なぜかアジアンをゆるくやってます。
居酒屋ふくちゃん
モウ者
営: 10/27 14:00 ~ 21:00
10/28 12:00 ~ 21:00
1日のみ営業

Menu
新規お
聞か
ス

続「俺の小笠原」

どーも、Ricky with FSP の Ricky です!! いや、来到了よ。来ましたよ。「俺の小笠原」の続編のオファー!! 嬉しいじゃないですか、前回いたしかに全然書き足りないかったという記憶だけはあるからね。そんな訳で待ってました!! このオファー。ところで、前編というか、前作は皆さんもう読んでくれてるんですか? 小笠原ミュージックフェスティバルの冊子などに載つてますので、読んでみて下さいね!! ジゃないと、これ何だかよく分からない流れだから、きっと。

で、前に何を書いたのか自分でもうる覚えだった

ので、読み返してみたんだけど、なんてこった。

ほとんど船の話と雑談で終わってるじゃないか!

すごい文書長いのに、肝心な小笠原については3

割ぐらい。いや、3割ないかも。これじゃ魅力が

伝わらんだろう!! と、書き手の本人が悔しく思つて

るので、今回はちゃんと小笠原に触れない存分

に良さを伝えられたら良いな。そんな気持ちで書

いてみたいと思います! ちなみに、今回もそれな

りに大作だ! 最後まで読んでね。では、早速です

が。小笠原と言えば? はい、そのあなたのたつ!! 何

が思い浮かびます? 「自然がいっぱい」おいおい、

なんてザックリとした答えなんだ。とは思いながらも、何となく「自然」と言う言葉に全て吸収さ

れてしまいそうな答えをイメージした方が多いん

じやないですか? 特に「海」とかね! そう、僕も

始めて小笠原に行つた時にとにかく驚いたのは、

最初に出迎えてくれたのがクジラだつたって事!!

プローチで分かりります? クジラの息継ぎの時にで

る水しぶき。あれを船から生で見た時は感動した。

なんて言うか、別世界に来たなってぐらいい驚き

と興奮。今これを読んでるって事はもう島にいるの

か? それとも船の中なのか? 分からん! 分からん

が、きっと感じるよ。「自然」の魅力。自然の魅力

の1つがやっぱり海かな。特に海好きの自分にとって

はたまらん場所!! ダイビングの船からもクジラ

を見れたり、ウエザーステーションと呼ばれてる

展望台からもクジラが見れる!! でもクジラは季節

によってだから、今は見れない! 残念!!

おいっ! 見れないのに書くなよって思うかもしれないけど、だって感動したんだもの。書くでしょ

うよ。クジラは見れないけれど、ウエザーステー

ションは展望台つて言うぐらいだからそれなりに

高いところにあって、そこから父島の海を一望出

来る!! 小笠原の海の魅力を感じられる場所の1つ。

そう言えばジャズフェス開催初年度となつた2年

前は、

そのウエザーステーションでもゲリラ的

ライブやらせてもらつたな。

あれは演奏してて空気

感も含めて楽しかつた。

その様子をドローンで撮影

してもらつて、これ読んでる方にも見てほしい

わ。島で演奏してるーー! って感じが良く分かる

映像なので。いかん、今回もついつい話が脱線して

しまう。海についての話の続き! クジラは見れない

けれど、イルカはいるほす! さすがに船出して多

少は沖合に行かないダメだけど、運が良ければ

イルカと一緒に泳げるかもね。あとダイビングつ

て、前編というか、前作は皆さんもう読んでくれてるんですか? 小笠原ミュージックフェスティバルの冊子などに載つてますので、読んでみて下さ

いね!! ジゃないと、これ何だかよく分からない

流れだから、きっと。

で、前に何を書いたのか自分でもうる覚えだった

ので、読み返してみたんだけど、なんてこつた。

ほとんど船の話と雑談で終わってるじゃないか!

すごい文書長いのに、肝心な小笠原については3

割ぐらい。いや、3割ないかも。これじゃ魅力が

伝わらんだろう!! と、書き手の本人が悔しく思つて

るので、今回はちゃんと小笠原に触れない存分

に良さを伝えられたら良いな。そんな気持ちで書

いてみたいと思います! ちなみに、今回もそれな

りに大作だ! 最後まで読んでね。では、早速です

が。小笠原と言えば? はい、そのあなたのたつ!! 何

が思い浮かびます? 「自然がいっぱい」おいおい、

なんてザックリとした答えなんだ。とは思いながらも、何となく「自然」と言う言葉に全て吸収さ

れてしまいそうな答えをイメージした方が多いん

じやないですか? 特に「海」とかね! そう、僕も

始めて小笠原に行つた時にとにかく驚いたのは、

最初に出迎えてくれたのがクジラだつたって事!!

プローチで分かります? クジラの息継ぎの時にで

る水しぶき。あれを船から生で見た時は感動した。

なんて言うか、別世界に来たなってぐらいい驚き

と興奮。今これを読んでるって事はもう島にいるの

か? それとも船の中なのか? 分からん! 分からん

が、きっと感じるよ。「自然」の魅力。自然の魅力

の1つがやっぱり海かな。特に海好きの自分にとって

はたまらん場所!! ダイビングの船からもクジラ

を見れたり、ウエザーステーションと呼ばれてる

展望台からもクジラが見れる!! でもクジラは季節

によってだから、今は見れない! 残念!!

おいっ! 見れないのに書くなよって思うかもしれないけど、だって感動したんだもの。書くでしょ

うよ。クジラは見れないけれど、ウエザーステー

ションは展望台つて言うぐらいだからそれなりに

高いところにあって、そこから父島の海を一望出

来る!! 小笠原の海の魅力を感じられる場所の1つ。

てなるので。で、これ書いて良いのか分からぬ

い

てられる感じ。この小港では実はライブもやら

せてもらいました!! 海から少し離れた所に山に

開まれた広場があつて、初年度そこでライブやつ

いた時、アーティストの

やつ

</